



No.19

20年3月1日

発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・川上 憲太
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同、オムロンが堂々の2連覇達成！

～第31回日本ハンドボールリーグ『ANAカップ』プレーオフ～

第31回日本ハンドボールリーグは3月17、18日に駒込体育館（東京）でプレーオフが行われ、男子・大同特殊鋼、女子・オムロンがレギュラーシーズン1位の実力をいかんなく発揮して堂々の2連覇を達成、勝負所でスピードあふれる攻撃でチームを勢いづけた大同・末松誠、再三の好守でピンチを未然に防いだオムロン・勝田祥子がMVPに輝いた。優勝した両チームは4月2～7日まで韓国ソウル市で開かれる第4回東アジアクラブ選手権へ出場する。

男子決勝は準決勝でトヨタ車体に36-29と順当勝ちした大同と、大崎電気を延長戦の末に31-28で突き放した湧永製薬の対戦。開始早々、李才佑のミドル、末松の速攻で大同が連取すれば、湧永も山口のポスト、福田の中央突破で応戦と、スリリングな展開を予感させる滑り出しとなった。

大同は白元詰、李、富田が大きく前に出る高いDFシフトで湧永攻撃陣にプレッシャーをかける。「前日延長を戦った相手を消耗させる作戦」（大同・姜在源監督）だった。攻撃ではエース白が湧永DFの執拗なマークに苦しむものの、鋭く前を狙う李のミドルや末松のスピード速攻などで得点チャンスを切り開いていった。6分過ぎからの3連取で5-2と先行した大同に対し、湧永も東、福田の活躍で必死に食らいつぐが、大同の果敢なDFの前に思うように得点ペースが伸びず、14-10と大同が4点リードで前半終了。

後半に入ると、山口の連続得点でリズムをつかんだ湧永がGK坪根の好守をからめて反撃に転じた。7分13-18と5点ビハインドの場面から大同・富田の退場に乗じて東らで加点、15分過ぎには空中に浮いたリバウンドボールを驚異のジャンプ力で押し込んだ下川のスーパープレーもあって19-20と1点差に詰め寄った。

しかし、ここから大同は富田のポストで再び2点差とすると、前半沈黙していた白のミドルやGK高木の好守などで25分25-21と主導権をキープ。連戦の疲れでやや動きが鈍った湧永のペースダウンを見逃さなかった大同のエネルギーな攻守が光った。湧永も古家、山口で得点を重ねたが、最後は白、李の気迫あふれるプレーでリードを守り切った大同が27-24で2年連続1回目の栄冠に輝いた。

オムロン 広島メイプルレッズと4回連続の決勝カードとなった女子決勝は、東濱のロングでオムロンが先制すれば、すかさずメイプルレッズもエース金鎮順のロングで取り返す互角のスタート。5分過ぎからは許順栄のポストプレーを中心に得点を重ねるオムロンに対し、クイックスタートから坂口のサイド、土屋のポストなどで得点を狙うメイプルレッズと互いに譲らず、25分12-11とオムロンのリードはわずかに1点のみ。

しかし、このあとオムロン・東濱のカットインで7mTを奪ったプレーでメイプルレッズ・大前が退場。このパワープレーチャンスに佐久川らで3連続速攻を奪ったオムロンが一気に攻勢に転じた。攻撃陣が1人足りない状況で早い仕掛けからパスミスやチャージングなどでターンオーバーを繰り返したメイプルレッズのダメージは大きかった。

16-11と5点リードで折り返したオムロンは後半に入ってもペースを崩さず、許、洪らで確実に加点。12分23-17としたあとメイプルレッズに3連打を許したものの、16分過ぎから東濱のサイドをきっかけに水野の速攻、洪のカットインなどで怒涛の6連取、守護神・勝田の堅守も冴え渡って2分29-20と大きく水をあけた。メイプルレッズも最後まであきらめず、菅野、金らで抵抗するが、そのたびに後半だけで6点を奪った洪が強打を連発。終始自信に満ちあふれた攻守を展開したオムロンが2年連続12回目のタイトルを手中に収めた。



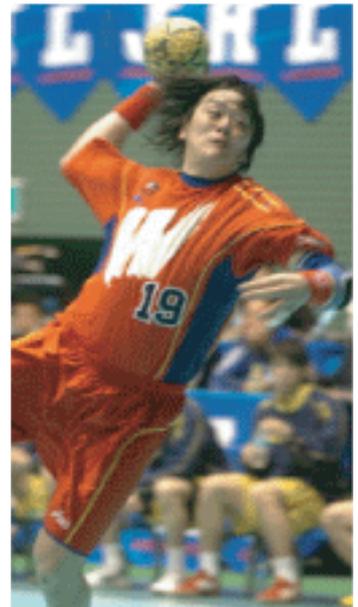
チームを2連覇に導きMVPに輝いた
大同・末松(上)オムロン・勝田(下)



大同特殊鋼・白



オムロン・東濱



男子2位の湧永製薬・山口

男女準決勝 湧永が執念の粘り、メイプルレッズも決勝へ

男子準決勝の第1試合はレギュラーシーズンを全勝で駆け抜けた大同特殊鋼と4位でプレーオフに初進出したトヨタ車体が対戦。いきなりエース白元皓の4連続ゴールで好スタートを切った大同に対し、車体もクイックスタートから門山のロングなどで応戦、大同・高木、車体・木下と両GKの好セーブの応酬もあって白熱した展開となった。2分13 10の場面から大同が白、末松で加点すれば車体も辻のサイド、香川の7mTで譲らず、結局前半は出だしの4連取がものをいった形で大同が16 12とリードして終えた。後半も両者の活発な打ち合いで試合が進み、白、李の韓国コンビの強打に加え、15分過ぎからは富田のポスト、山本のサイドなどでペースアップした大同が18分29 21と8点リード。このあと車体も鶴谷らの3連打などで必死に食い下がったが、試合巧者の大同は取られれば取り返す“必勝パターン”でがっちりとリードを守り切り、36 29と7点差をつけて車体の挑戦を退けた。

レギュラーシーズン2位の湧永製薬と同3位の大崎電気が対戦した第2試合は、6分過ぎの湧永・古家のミドルが初ゴールとロースコアの滑り出し。その後は一進一退の攻防が続き、15分5 5と互角の展開となった。試合が動いたのは20分過ぎ。17分山中、23分東と湧永に退場者が出たパワープレーチャンスに豊田、宮崎らの連続得点でペースをつかんだ大崎が、14 10と4点リードして前半を折り返した。後半に入ると今度は湧永が反撃開始。いきなり大崎・宮崎に打ち込まれて5点差とされたものの、すぐさま東、福田のロングで盛り返すと、下川の速攻なども決まって8分までに5点を連取、15 15と並んで試合を振り出しに戻した。

この後は両チームの激しい攻防戦に主導権がめまぐるしく移り変わり、スタンドの興奮がエスカレート。20分22 22の同点から湧永が小藪、東らの活躍で3点先行すれば、大崎も25分過ぎからの3連打で同点、さらに28分には宮崎のミドルで27 26と逆転に成功した。しかし、ここから湧永も執念の粘りを発揮、残り10秒から絶好調の東が渾身のステップシュートを大崎ゴールにねじ込み、勝負の行方は延長戦へともつれ込んだ。そして、延長に入ると山本の気迫溢れるポストプレーでリードを広げた湧永がGK坪根のファインセーブもあり、31 28とV奪回を狙った大崎セブンの夢を打ち砕いて4年ぶりの決勝進出を果たした。

女子準決勝は広島メイプルレッズとソニーセミコンダクタ九州が対戦。エース金鎮順を中心にサイド坂口、ポスト土屋らで加点するメイプルレッズに対し、ソニーは得点王の郭恵静、センター長野からのスピードあふれるパス回しで得点チャンスを切り開き、両者の持ち味が発揮された前半はメイプルレッズが17 16と1点リードで終了した。後半に入ると菅野の連打で好スタートを切ったメイプルレッズが金のロング、土屋のポストでたたみかけて4分21 16と一気にスパート。これでリズムをつかんだメイプルレッズはGK高森のファインセーブ連発や、後半から攻撃に参戦した兼任監督の林五郎が要所で3得点を奪うなど、巧みな試合運びで13分30 23と試合を支配した。反撃の足がかりをつかみたいソニーだったが、守りで受け身に回ったことで得意のスピードが封じ込まれた格好となり、このあと東が退場した間に3連続失点を喫してさらに傷口が広がった。15分33 23とメイプルレッズが大量10点のリード。ソニーは終盤、郭、高橋らで4連取の反撃を見せたが時すでに遅し。積極果敢な攻守でソニーを圧倒したメイプルレッズが38 30と会心の勝利を飾って決勝へと駆け上った。



女子2位の広島メイプルレッズ・坂口



男子3位の大崎電気・岩本



堂々のV2を飾った大同②とオムロンセブン⑥

3月17日(土) 女子準決勝
東京・駒沢体育館

広島メイプルレッズ 38 (17-16) リーグ2位
ユニセコングクワ九州 30 (21-14) リーグ3位

K	高森	中島	K	<1/3>
6/8	土屋	郭恵	7/17	
0/1	樹山	長野	9/17	
2/5	大前	田中	3/6	
0/4	植垣	石崎	0/0	
3/4	林五	野藤	1/2	
6/11	菅野	工藤	1/6	
0/1	坪井	高橋	6/11	
3/6	伊藤	高千	0/0	
5/9	坂口	齋藤	0/0	
1/2	安齋	飛田	K	<0/2>
4/5	8/11	金順	野	0/0
K	江	頭	寺	3/8
0/1	新	城	東	0/0



トヨタ車体・野村



ソニー・田中

4/5 34/63 7(FPP)13 30/67 0/0
審判(仲田・植村) 観客 1348人

3月17日(土) 男子準決勝
東京・駒沢体育館

大同特殊鋼 36 (16-12) リーグ1位
トヨタ車体 29 (20-17) リーグ4位

<1/1>	K	荻田	木下	K	<0/1>
0/0	0	松林	野	2/4	
0/1	0	服部	村	5/12	0/1
1/1	6/11	末松	藤田	1/4	
5/5	0	富田	近藤	0/1	
0/0	0	地引	竹下	0/0	
0/3	0	武田	北出	1/1	
0/0	0	大田	清水	0/0	
<1/2>	K	高木	長谷川	1/2	
4/12	0	李才	鶴谷	7/9	
0/1	5/8	山本	谷井	K	<1/3>
2/2	12/19	白元	香川	2/3	1/2
0/1	0	岸川	崎前	2/3	
1/2	0	渡久川	門山	7/13	

3/4 33/62 8(FPP)7 28/52 1/3
審判(家永・福島) 観客 2340人

3月18日(日) 女子決勝
東京・駒沢体育館

オムロン 33 (16-11) リーグ1位
広島メイプルレッズ 24 (17-13) リーグ2位

<1/2>	K	勝田	高森	K	<1/3>
3/7	0	水野	土屋	4/7	
2/5	0	安心	樹山	0/0	
7/8	0	許順	大前	3/4	
0/0	0	西本	植垣	1/4	
2/3	1/3	吉田	林五	1/3	
4/6	0	佐久川	菅野	3/7	
2/4	0	坂元	坪井	0/0	
9/15	0	洪廷	伊藤	1/1	
K	0	藤間	坂口	5/9	
0/0	0	城内	安齋	0/0	
0/0	0	巻川	金順	5/14	1/2
0/0	0	高田	江頭	K	
3/8	0	東濱	新城	0/0	

2/3 31/56 11(FPP)7 23/49 1/2
審判(池淵・檜崎) 観客 1878人

3月17日(土) 男子準決勝
東京・駒沢体育館

湧永製薬 31 (10-14) リーグ2位
大崎電気 28 (17-13) リーグ3位

5/10	0	下川	浦和	K	<1/2>
1/1	0	浜本	田中	4/7	0/1
0/0	0	山中	加藤	0/0	
3/6	0	福前	中川	0/1	
0/0	0	吉田	川藤	3/8	
3/4	0	小東	佐藤	0/0	
0/0	4	東長	島本	4/5	
1/2	6/14	東	岩本	3/6	
<3/3>	K	坪根	森本	0/0	
0/0	0	武藤	田口	0/0	
K	0	松村	濱	K	
4/13	0	古家	猪	1/4	
1/4	0	渡辺	妻	5/6	0/2
7/8	0	山	宮崎	8/18	

1/2 30/60 12(FPP)9 28/55 0/3
審判(BUY Olivier・BORD Gilles) 観客 2896人

3月18日(日) 男子決勝
東京・駒沢体育館

大同特殊鋼 27 (14-10) リーグ1位
湧永製薬 24 (13-14) リーグ2位

<1/1>	K	荻田	下川	2/3	
0/0	0	松林	浜本	1/3	
0/0	0	服部	山中	0/0	
8/15	0	末福	田中	4/10	
0/0	0	浦吉	田吉	0/0	
2/3	0	富田	小敷	1/4	
1/3	0	武田	東濱	0/0	
0/0	0	大田	東	3/11	
<1/1>	K	高坪	根	K	<0/1>
9/13	0	李才	武藤	2/2	
0/2	0	山本	松村	K	
1/1	6/17	白元	古家	3/10	
0/0	0	岸川	渡辺	2/3	
0/0	0	渡久川	山口	6/8	

1/1 26/53 4(FPP)8 24/54 0/2
審判(BUY Olivier・BORD Gilles) 観客 3327人

【個人表彰】

男子1部

・最高殊勲選手賞	末松	誠 (大同特殊鋼)	初
・最優秀監督賞	姜在	源 (大同特殊鋼)	2回目
・殊勲選手賞	山口	修 (湧永製薬)	初
・得点王	神田	友和 (北陸電力)	127点
・フィールド得点賞	神田	友和 (北陸電力)	127点
・シュート率賞	渡辺	正樹 (湧永製薬)	0.664
・7mスロー得点賞	原	貴之 (豊田合成)	36点
・7mスロー阻止賞	松延	弘樹 (ホンダ熊本)	0.435
・最優秀選手賞	白元	喆 (大同特殊鋼)	3回目
・ベストセブン賞	GK	高木尚 (大同特殊鋼)	初
	CP	渡辺正樹 (湧永製薬)	初
		猪妻正活 (大崎電気)	初
		山口修 (湧永製薬)	6回目
		白元喆 (大同特殊鋼)	4回目
		李才喆 (大同特殊鋼)	初
		宮崎恭輔 (大崎電気)	3回目
		富田恭介 (大同特殊鋼)	初
・ベストディフェンダー賞	豊田	合成 110点/18試合 (6.1点/試合)	
・フェアプレー賞	門山	哲也 (トヨタ車体)	
・最優秀新人賞			

女子1部

・最高殊勲選手賞	勝田	祥子 (オムロン)	2回目
・最優秀監督賞	黄慶	泳 (オムロン)	2回目
・殊勲選手賞	高森	妙子 (広島メイプルレッズ)	初
・得点王	郭恵	静 (ユニセコングク九州)	110点
・フィールド得点賞	郭恵	静 (ユニセコングク九州)	103点
・シュート率賞	水野	恵子 (オムロン)	0.821
・7mスロー得点賞	吉田	祥子 (オムロン)	69点
・7mスロー阻止賞	勝田	祥子 (オムロン)	0.423
・最優秀選手賞	田中	美音子 (ユニセコングク九州)	3回目
・ベストセブン賞	GK	勝田祥子 (オムロン)	2回目
	CP	水野恵子 (オムロン)	初
		佐久川ひとみ (オムロン)	6回目
		土屋友美 (広島メイプルレッズ)	初
		金鎮順 (広島メイプルレッズ)	2回目
		郭恵静 (ユニセコングク九州)	3回目
		田中美音子 (ユニセコングク九州)	10回目
		坂元智子 (オムロン)	2回目
・ベストディフェンダー賞			
・フェアプレー賞			
・最優秀新人賞			

ユニセコングク九州 103点/15試合 (6.9点/試合)

野路良子 (北国銀行) レフェリー

・最優秀レフェリー賞 家永昌樹 (大阪) 福島亮一 (長崎) 該当者なし

・最優秀新人レフェリー賞

第31回日本ハンドボールリーグ成績表

全日程終了

順位	男子	大同特殊鋼	湧永製薬	大崎電気	トヨタ車体	ホンダ	トヨタ紡織九州	ホンダ熊本	北陸電力	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼	29 29	31 30	42 39	38 37	29 35	45 32	42 42	45 44	40 39	18	18	0	0	36	668	437	231	
2	湧永製薬	24 27	27 29	30 30	30 22	21 32	27 22	20 27	17 19	11 22	18	14	0	4	28	608	427	181	
3	大崎電気	29 29	25 25	28 35	22 26	22 22	26 22	28 17	21 16	26 11	18	14	0	4	28	604	446	158	
4	トヨタ車体	27 29	24 26	27 23	32 24	36 31	49 36	41 46	39 44	42 40	18	11	0	7	22	630	506	124	
5	ホンダ	30 30	33 27	27 23	26 25	28 32	22 29	33 25	32 35	29 35	18	11	0	7	22	499	457	42	
6	トヨタ紡織九州	38 37	30 35	32 29	32 24	20 26	32 32	33 26	34 34	38 33	18	10	0	8	20	526	526	0	
7	ホンダ熊本	21 32	22 22	27 30	31 33	20 26	31 28	29 30	27 34	29 25	18	5	0	13	10	458	562	-104	
8	北陸電力	29 35	34 34	23 37	36 31	28 32	28 24	28 24	32 29	35 26	18	3	0	15	6	466	587	-121	
9	豊田合成	27 22	26 22	23 17	27 26	16 19	31 28	29 30	23 21	18 23	18	3	0	15	6	397	640	-243	
10	トヨタ自動車	45 32	34 31	38 30	49 36	22 29	32 32	28 24	30 28	23 21	18	1	0	17	2	355	623	-268	
		20 27	28 17	28 25	26 18	26 21	31 25	28 24	32 29	35 26									
		42 42	35 40	36 35	41 46	33 25	33 26	29 30	23 21	19 31									
		17 19	21 16	24 20	19 26	23 22	24 23	30 28	23 21	18 23									
		45 44	39 48	47 43	39 44	32 35	34 34	27 34	32 29	17 17									
		11 22	26 11	21 22	23 21	16 11	21 24	21 21	19 31	17 17									
		40 39	42 44	43 42	42 40	29 35	38 33	29 25	35 26	18 23									

上位4チームはプレーオフで順位を決定する。

2位 - 3位は、総得失点差による。4位 - 5位は対戦間得失点差による。8位 - 9位は対戦間勝ち点による。

順位	女子	オムロン	メイプルレックス	ソニー	北国銀行	H C 名古屋	三重花菖蒲	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	35 30 28	32 35 33	27 34 31	34 41 43	38 27 34	15	13	1	1	27	502	339	163	
2	広島メイプルレックス	23 28 28	38 34 33	31 23 35	21 17 16	15 15 20	15	10	1	4	21	446	385	61	
3	ソニセミコンダクタ九州	35 30 28	28 30 37	26 30 23	13 18 22	23 19 23	15	10	0	5	20	494	431	63	
4	北国銀行	35 26 31	38 34 33	28 30 28	37 36 27	34 30 34	15	10	0	5	20	494	431	63	
5	H C 名古屋	21 24 19	26 30 23	28 30 28	33 32 29	27 31 19	15	8	0	7	16	400	375	25	
6	三重花菖蒲	27 34 31	31 23 35	37 36 27	12 12 18	16 18 18	15	1	2	12	4	281	460	-179	
		21 17 16	13 18 22	23 24 22	12 12 18	25 18 20	15	1	2	12	4	281	460	-179	
		34 41 43	32 29 27	34 30 34	33 32 29	25 17 20	15	0	2	13	2	300	433	-133	
		15 15 20	23 19 23	23 27 21	16 18 18	25 17 20	15	0	2	13	2	300	433	-133	
		38 27 34	24 29 32	42 34 33	27 31 19	25 18 20	15	0	2	13	2	300	433	-133	

上位3チームはプレーオフで順位を決定する。